

すっかり冬本番で、上着を着ていつもよりもこもこして歩く姿がとってもかわいいあり組です。散歩に出かけると園庭では見たこともない大きな葉っぱを見つけて「ぱ！ぱ！」と喜んだり、突然吹く強い北風を感じ、思わず「うわー！」と声をあげたり、元気いっぱい楽しんでいます。保育室ではままごとでかばんやハンカチを用意すると、さっそくハンカチをお腹（エプロン）や頭（三角巾）に巻いてみたり、かばんにおもちゃを入れて腕にかけ、手を振って嬉しそうに出かけて行ったりと、お家の方や保育者のしていることを真似て楽しんでいます。少しずつ友だちと関わる姿も見られるようになり、目を合わせて笑い合ったり、友だちの好きなおもちゃを見つげ渡してあげたりと、友だちの存在を大切に感じながら過ごしています。

生活面では少しずつ生活の流れが分かり、ご飯やおやつに呼ばれる前からそわそわと心の準備をしているかわいい様子も見られます。また、自我が芽生え、自己主張も出てきて、「自分でする」「いやだ」というその時の気持ちを一生懸命表現しています。一人ひとりの気持ちを受けとめ、今の姿を大切に過ごしていきたいと思えます。

2月もまだまだ厳しい寒さが続きますが、寒いからこそできる体験も大切に、心や身体をたくさん動かして遊びたいと思えます。保育室では、友だちや保育者とやりとりを楽しみながら、ままごとをしたり、新聞紙で作った豆で節分の豆まきをしたりと、楽しんでいきたいと思えます。



ままごとと一緒に遊んでいた時のこと。保育者が作ったパフェがこぼれてしまい、「ああ！こぼれちゃった・・・」と泣く仕草をしていると、それに気付いたAちゃんが保育者に近づき、ぎゅっと抱きしめてくれました。その後、Bちゃんも来てくれて同じように抱きしめてくれ、子どもたちの優しい気持ちが伝わってきて、とても嬉しかったです。

寒さの中でも元気いっぱい戸外で遊んでいる子どもたちです。ビニール袋に丸シールを貼って作った凧を持って「ふわふわする！」「よーいドン！」と言いながら、テラスや園庭の端から端まで走ったり、ふわふわと風に乗る様子を見たりして思い思いに凧揚げを楽しんでいました。室内では保育者がコマを回す様子を見ながら一緒に回そうとし、「できた！」と喜んだり、回ったコマにレゴブロックの小さいパーツをかぶせてくるくる回るのがじっくりと見たりして繰り返して遊んでいました。また、友だちと一緒に食べ物や乗り物のカルタをして正月遊びを存分に楽しみました。

生活面では靴や帽子、ズボンの着脱等、意欲的に自分でする姿が増えて保育者が手伝おうとすると「**OOくん(ちゃん)が!**」と言って一生懸命自分ですようと、できた時の嬉しそうな表情は、とても微笑ましいです。これからも子どもたちの意欲を大切に、できた時は一緒に喜び、自信に繋げていきたいと思えます。

今月は模造紙にローラーで色を塗ることを楽しみ、鬼に見立て、新聞紙で丸めた豆で豆まきを楽しみたいと思えます。また2月後半から、花紙を丸めて貼ったり、パス画で思い思いに描いたりして表現することを楽しみ、ひな人形制作を楽しみたいと思えます。



食べ物や乗り物のカルタ遊びを楽しんでいるひよこ組の子どもたち。保育者の読んだものを一生懸命探して取れたカードを大切に握っていたり「ちゅるちゅる(ラーメン) えい! したの!」と言って取れたことを喜んだりしていました。嬉しそうな姿にほっこりする毎日です。

厳しい寒さの中でも、子どもたちは毎日元気に体を動かして遊んでいます。戸外へ出ると、「おにごっこしよう」と言って友だちや保育者を誘い、タッチをしたら鬼を交代するルールが分かってきて、逃げることも鬼になって追いかけることも楽しんでいます。これからも「鬼ごっこ」や「だるまさんがころんだ」など簡単なルールのある集団遊びをしていきたいと思えます。室内では、自分で手回しゴマを回して模様や色が変わる様子を楽しんだり、かるたや絵合わせカードでは自分の取れた札を数えて喜んだり、正月ならではの遊びを存分に楽しみました。

生活面では、手を洗う際に指の間や手の甲を丁寧に洗ったり、自分のコップを使ってブクブクうがいをしたりと身の回りのことに意欲的に取り組み、「バイキン、バイバイしたよ」「ピカピカになった」とできたことを喜ぶ姿が見られます。ぜひご家庭でも、手洗いやうがいをなど身の回りのことを自分でやってみようとする姿を見守ってあげてくださいね。

今月は、筆を使って紙皿に自由に色を塗って表現した鬼のお面をかぶって豆まきを楽しむ予定です。雛人形の制作では顔をパスで描き、千代紙を折ってお雛様の着物を作ります。丁寧に千代紙を折ったり、パスを使って自由に表現したりする姿を受け止めながら行っていきたいと思えます。

また、幼児園庭や散歩では、たくさん体を動かしたり冬の自然に触れる中で感じた一人ひとりの発見や気づきを大切にしたりして、過ごしていきたいと思えます。



室内で過ごしていた時、霰が降っていることに気づき、「しろいのがふってるね」「さむいからかな」と言いながら、外の景色を観察していた子どもたち。その中でAくんは、白い粒々の霰が落ちた地面を見て「うわぁ、おこめいっぱい」と大喜び。食べることが大好きなAくんのかわいい表現にほっこりしました。